

第 29 回全日本クラブ卓球選手権大会

- (1) 名 称 第 29 回全日本クラブ卓球選手権大会
- (2) 期 日 平成 22 年 7 月 16 日 (金) ~ 19 日 (月)
- (3) 会 場 新青森県総合運動公園青い森アリーナ
JR「青森駅」よりバス約 40 分
〒039-3505 青森県青森市大字宮田字高瀬 22-2
TEL (017) 737-0601 FAX: 017-726-3691
- (4) 主 催 (財) 日本卓球協会
- (5) 主 管 青森県卓球連盟、青森市卓球協会
- (6) 後 援 青森県、青森県教育委員会、(財) 青森県体育協会、青森市、青森市教育委員会、
(財) 青森市体育協会
- (7) 競技種目 (団体戦) (イ) 男子：一般の部 1部 (ロ) 女子：一般の部 1部
(ハ) 男子：一般の部 2部 (ニ) 女子：一般の部 2部
(ホ) 男子：50代の部 (ヘ) 女子：50代の部
(ト) 男子：60代の部 (チ) 女子：60代の部
(リ) 男子：小・中学生の部 (ヌ) 女子：小・中学生の部
- (8) 試合方法 競技は、第 1 ステージはリーグ戦、第 2 ステージはトーナメントで行う。
- 一般の部 : 監督 1 名、コーチ 1 名、選手 4 ~ 6 名を登録することができる。登録選手による 4 シングルス、1 ダブルスを編成し、3 番にダブルスをおき 3 点先取法により決定する。
但し、1、2 番の選手で 3 番のダブルスを組むことはできない。
- 50代の部 : 選手は 50 才以上で登録する。監督 1 名、コーチ 1 名、選手 4 ~ 6 名を登録することができる。
登録選手による 4 シングルス、1 ダブルスを編成し、3 番にダブルスをおき 3 点先取法により勝敗を決定する。
但し、1・2 番の選手で 3 番のダブルスを組むことはできない。
- 60代の部 : 選手は 60 才以上で登録する。監督 1 名、コーチ 1 名、選手 4 ~ 6 名を登録することができる。登録選手による 4 シングルス、1 ダブルスを編成し、3 番にダブルスをおき 3 点先取法により勝敗を決定する。但し、1・2 番の選手で 3 番のダブルスを組むことはできない。
- 小・中学生の部 : 監督 1 名、コーチ 1 名、選手 4 ~ 6 名 (中学生以下) を登録して 5 シングルス を編成し、予選リーグは勝敗に関係なく全試合 (5 番まで) 行うものとする。なお、その記録結果はリーグ内で試合得点と同じ場合にすべて比率計算対象とする。出場順は次の通りとする。
- | | | | | |
|---------|-------|---------|-------|----|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 中学生以下 A | 小学生 A | 中学生以下 B | 小学生 B | 自由 |
- ※ 5 番は 1 ~ 4 番出場選手の中の 1 名が重複して出場するか、1 ~ 4 番出場以外の者も出場できる。但し、年令の低い者が年令の高い所への出場は認めるが、1 人で 3 回出場することはできない。
※ 第 1 ステージのリーグ戦は 3 チームリーグとする。
- ※ 監督会議での登録選手の変更は 2 名までとし、いずれも予選に出場していない者とする。
また、監督会議後の変更は受け付けない。
- ※ 両チームオーダー交換 (整列) 時に、試合に出場する規定の 4 名以上のメンバーがその場に整列していなければならない。(メンバー不足の場合は団体戦として無効となる。)
- ※ 前年度のランキングチームであっても予選リーグより出場となる。
- (9) 競技日程 (日程については参加申込数により変更することがあります。)
- 監督会議 未定
- 競 技 7 月 16 日 (金) 50代の部、60代の部
17 日 (土) 一般2部、50代の部、60代の部、小・中学生の部
18 日 (日) 一般1部、2部、小中学生の部
19 日 (月) 一般1部
- (10) 競技ルール ① 現行の日本卓球ルールによる。
② 全試合、11本5ゲームで行う。

- ③使用球は、J T T A公認球；40mmオレンジを使用する。
- ④ゼッケンは平成22年度（財）日本卓球協会指定のものを持参して使用すること。
- ⑤同じユニホームによる対戦を避けるため、2種類以上のユニホームを持参すること。
- ⑥ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとしてJ T T Aが公認した接着剤のみを使用すること。

(11) 参加資格

- 1)参加者は平成22年度、(財)日本卓球協会登録者で構成する団体であること。
なお、都道府県予選の申込み締め切り日以降の新規選手登録は認められない。
また、日学連、高体連に加盟している者は出場する事ができない。
- 2)参加チームは、原則として現住所または勤務先を同一都道府県内とするメンバーからなるクラブ単位とし、都道府県代表として参加する事。但し、現住所、勤務先がクラブ活動地と異なる選手の出場については、当該加盟団体長の承認を必要とし、この場合は隣接都道府県に限って認めるものとする。なお、登録加盟団体以外（隣接都道府県）のチームから参加する場合は、当該年度を含め2年間は当該チーム以外からは出場できない。
- 3)出場者は（予選会を含めて）同一年度に一人一種目までとする。
- 4)卓球メーカーチームも参加できる。但し、ブランド名、商品名をチーム名に用いてはならない。クラブ名を使用すること。
- 5)男・女各部について、同一クラブから複数のチームが出場することができる。
- 6)予選出場メンバーと本大会のメンバーを、予選出場チーム間で入れ替えることはできない。また、予選会で敗れたチームの選手が本大会出場チームへ加わることはできない。なお、前年度ランキングチームのメンバーがチームを代えて予選に出場できるのは2名までとする。
予選の方法は加盟団体に一任する。
- 7)前年度ランキングチームはそのランキング種目に無条件出場できる。但し、無条件参加資格を持つチームが、本大会の都道府県予選会に申込みをした場合は、申し込んだ時点で無条件参加資格を放棄したものとして取り扱う。
- 8)前年度ランキングチームが『前年度一般の部から50代の部』、『前年度50代の部から60代の部』に出場する場合、メンバーが4名以上同じであることを条件に推薦出場することができる。
- 9)外国籍の選手（日本で出生して引き続き3年以上日本に在住している者、あるいは引き続き10年以上日本に在住している者は除く）は1チーム1名1ポイントに限って参加資格が得られる。（シングルスとダブルスに重複して出場することは出来ない。）
- 10)本会が認めた場合、特別チームを出場させることができる。
- 11)本大会に出場した代表チームのメンバーは、第一三共ヘルスケアレディース2010・第33回全国レディース卓球大会に団体戦・個人戦を問わず出場することはできない。（但し、予選会を除く。）
- 12)一般の部1,2部男・女は、第60回全日本実業団選手権大会（本大会）出場者（参加登録者を含む）は出場できない。
- 13)一般の部2部男・女
 - ①日本学生卓球連盟に所属していない大学同好会で、過去3年間、（'07～'09）下記の全国大会へ出場したことの無い人で構成されたチーム。
 - ②過去3年間（'07～'09）下記の全国大会に出場したことの無い人だけで構成されたチーム。（過去3年間に下記全国大会に出場した選手が1人でも含まれる場合には1部となる）
 - ③全日本実業団選手権大会（予選会を除く）に参加したことの無い企業チーム。
※下記大会に出場したことがあっても40歳以上の者は一般の部2部に出場できる。
- 全国大会
 - ①全日本卓球選手権（ジュニアを含むが、マスターズの部は含まず）
 - ②全日本選手権（団体の部）
 - ③全日本社会人選手権
 - ④国民体育大会
 - ⑤インターハイ（シングルス・ダブルス）
 - ⑥全日本学生選手権（全日本大学対抗選手権は対象外）
- 14)50代の部男・女は、昭和36年4月1日以前に生まれた者で構成された単独チーム。（50才以上）
- 15)60代の部男・女は、昭和26年4月1日以前に生まれた者で構成された単独チーム。（60才以上）
- 16)小・中学生の部男・女は、各種の全国大会に出場した者でもよい。また、年齢の低い者だけで構成してもよい。

- 17) 前年度一般2部ベスト4のチームは一般1部に出場するものとする。但し、平成23年度からは前年度大会(平成22年度大会)の一般2部優勝チームのみが一般1部に推薦出場するものとしその他の一般2部のランキングチームは一般1部もしくは一般2部いずれかを選択し推薦出場できる。
- 18) 参加資格に違反した場合は失格とする。なお、大会後に発覚した場合は成績(ランキング)を剥奪し、当該チームは翌年度の本大会に出場することはできない。

(12) 参加数 一般1部、一般2部、50代の部、60代の部

区分	都道府県名	出場枠
1	北海道、青森(開催地)、東京、愛知、福岡	4
2	埼玉、神奈川、静岡、京都	3
3	長野、兵庫、広島、長崎、山口	2
4	その他の府県	1

小・中学生の部

区分	都道府県名	出場枠
1	北海道、青森(開催地)、神奈川、静岡、兵庫	4
2	福島、茨城、千葉、新潟	3
3	栃木、東京、愛知、岐阜	2
4	その他の府県	1

区分1：開催県及び平成21年度日卓協該当登録人口上位4加盟団体

区分2：平成21年度日卓協該当登録人員5～8位加盟団体

区分3：平成21年度日卓協該当登録人員9～12位加盟団体

区分4：区分1・2・3に該当しない加盟団体

※上記区分以外に、各県予選において出場数が15チーム以上であった場合、当該種目において15チームごとに「1枠」の追加枠を認める。尚、追加枠を適用する加盟団体は、申込時に予選会のプログラムを添付すること。

(例：青森県予選男子一般2部で参加数が31チームだった場合、上記出場枠4枠+「2枠」で代表枠は6枠となる。)

- (13) 参加料 団体戦 一般の部1,2部、50,60代の部 1チーム 30,000円
小・中学生の部 //

- (14) 申込方法 別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団体長捺印の上、推薦チームを含め下記宛申し込むこと。尚、参加料は現金書留郵便又は振込にて日本卓球協会宛送金のこと。

(振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 財団法人 日本卓球協会)

(個人またはチームからの申込および参加料の送金はしないこと。個人名・チーム名で送金されますと、どの加盟団体のどの大会の送金が判別できないことがあります。必ず各都道府県がとりまとめて送金してください。)

原本を 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内

(財)日本卓球協会 宛

TEL(03)3481-2371、FAX(03)3481-2373

コピーを〒030-0943 青森県青森市幸畑2-3-1 青森大学内

青森県卓球連盟 宛

TEL:(017)728-7800 FAX:(017)728-3977

- (15) 申込締切 平成22年6月1日(火)必着のこと。
締切日迄に申込無き場合は、不参加とみなす。もし、事情により遅れる場合は、必ず日本卓球協会事務局まで連絡のこと。

- (16) 宿泊申込 後日、指定旅行代理店より連絡する。
日専連旅行センター 〒030-0801 青森市新町2-7-16
TEL:(017)735-1154 FAX:(017)735-2700

- (17) その他 1)やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず本会及び主管団体宛連絡すること。
2)10年連続本大会出場チームで未表彰のチームに対し、本会が表彰するので該当チームは申込書にその旨記載すること。
3)男女一般1部より各1名最優秀選手を表彰する。

- 4)平成22年度全日本卓球選手権大会および第44回全日本社会人選手権への推薦出場選手は、本大会の成績によりクラブ委員会が推薦する。
- 5)『世代交流の部』は当面休止とする。(会場規模で再開する可能性もある。)
- 6)本大会及び予選におけるケガ、疾病が発生した場合は、本会規程により「お見舞金」が支給されます。
- 7)個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。

(18) 第29回全日本クラブ卓球選手権大会推薦出場チーム

第28回全日本クラブ卓球選手権大会ランキング

男子一般の部1部 1 日産横浜クラブ (神奈川県) 2 田阪卓研 (京都) 3 卓精会 (東京) 4 卓楓会 (東京) 5 カヴァヌーラ (神奈川県) 6 丸善クラブ (東京) 7 GROUND ZERO (東京) 8 境・鶴谷クラブ (群馬)	女子一般の部1部 1 ニック&チームワッキー (東京) 2 ファミタク (東京) 3 里湯昔話雄山荘ロイヤルクラブ (滋賀) 4 MD相模 (神奈川県) 5 新大クラブ (新潟) 6 九十九 (東京) 7 わかくさクラブ (奈良) 8 美鷹クラブENJOY (東京)
男子一般の部2部 1 福卓会 (福島) 2 丸善クラブ (東京) 3 W I N S (A) (大阪) 4 日産追浜クラブ (神奈川県) 5 大阪ナイトクラブ (大阪) 6 ドリームA (静岡) 7 C L U B - e (山梨) 8 ヒロタクススポーツB (広島)	女子一般の部2部 1 九十九 (東京) 2 瑞穂クラブ (茨城) 3 秦野レディース (神奈川県) 4 T&Tクラブ (東京) 5 チームシータ (宮城) 6 久喜さくらクラブ (埼玉) 7 高倉クラブ (神奈川県) 8 スマイル (東京)
男子50代の部 1 目黒不動クラブ (東京) 2 秋山卓球 (福岡) 3 青葉クラブ (埼玉) 4 さくら卓研 (徳島) 5 卓精会 (東京) 6 清友クラブ (大阪) 7 F A M I L Y (神奈川県) 8 双葉苦楽部 (東京)	女子50代の部 1 千代田クラブ (東京) 2 淑友クラブ (東京) 3 甲子園クラブA (兵庫) 4 浜卓会トトロ (神奈川県) 5 藤沢レディースA (神奈川県) 6 みらくる (大阪) 7 武蔵野クラブ (東京) 8 大田クラブ (東京)
男子60代の部 1 サザンクロス (東京) 2 代々木クラブ (東京) 3 双葉苦楽部 (東京) 4 博多ベテラン会 (福岡) 5 西東京クラブ (東京) 6 平沼クラブ (東京) 7 逗子クラブ (神奈川県) 8 ブループラム (東京)	女子60代の部 1 ウェルネス (東京) 2 つばさクラブ (東京) 3 西宮卓友会 (兵庫) 4 ドンペリ (富山) 5 卓精会 (東京) 6 相模原ベテラン会 (神奈川県) 7 T.くまがや (埼玉) 8 藤沢レディースB (神奈川県)
男子小・中学生の部 1 フェニックス卓球クラブ (福井) 2 T・Cマルカワ (岡山) 3 鳥屋クラブジュニア (石川) 4 石田卓球クラブ (福岡) 5 益子ジュニアB (栃木) 6 ヒロタクススポーツ (広島) 7 稗原クラブ (島根) 8 原田卓球 (鳥取)	女子小・中学生の部 1 徳地卓球クラブ [®] 少年団 (山口) 2 ヒロタクススポーツ (広島) 3 伊丹卓球教室 (兵庫) 4 フェニックス卓球クラブ (福井) 5 M e i j i c . s . c (東京) 6 華卓会A (栃木) 7 S . K . S (兵庫) 8 本宮卓球クラブ (福島)